



東京家政大学附属女子中学校・高等学校

TOKYO KASEI UNIVERSITY
JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

KASEIから新しいSEKAIへ
全力で新たな時代の創造に挑戦し続ける

本校は明治14（1881）年に創立、女子教育一筋で今年度143年目を迎えます。この歴史と伝統を受け継ぎ、豊かな感性と知性を備えた女性を育てています。附属校は大学と同じ敷地内（東京ドーム約2個分の広さ）にあるのも大きな強みです。この恵まれた教育環境を生かし、教育研究・人財知財・施設設備面での中高大連携を強化しています。

本校では卒業生や大学教授などが来校し、講演やゼミを行うなどキャリア教育にも力を入れています。その結果、近年は大



大澤 力

校長・名誉教授・教育学博士

政大にない学部、外部進学を目指す「スーパーアドバンスコース」と、内部進学も外部受験も可能な「クリエイティブラーニングコース」の2コース制となります。さらに制服のデザインをリニュー

学入試も一般選抜に挑戦する生徒が増え、国公立や早慶など上位校への進学実績も伸びています。その一方で多様な進路を実現できる学部学科を擁している

東京家政大への内部進学実績や進学枠の拡大（進学希望者の2倍程度）を進めていきます。

新コース制導入、新制服

2025年からの大きな変化

「KASEIから新しいSEKAIへ」を合言葉に、2025年には学校が大きく変わります。まず、高校にコース制を導入し、国立大学受験にも対応した家

アルします。また、現在生徒はICT機器としてiPadを使用していますが、オンライン学習ツールを強化するとともに、

生成AIも活用していく予定です。そして、保護者会、同窓会などの後援会組織も活性化させ、新しい流れを作るべく動いています。さらに、キャリア教育も

25歳の自分を思い描いてキャリアプランを立てる「ヴァンサンカン・プラン」のブラッシュアップをしたいと考えています。

語学研修から長期留学まで
充実の海外プログラム



さまざまな業界で活躍する卒業生による講演会を行うなど、キャリア教育も充実



ニュージーランド・マッセイ大学での語学研修

「KASEIから新しいSEKAIへ」の「世界」にはいろいろな意味が込められていますが、グローバル教育もその一つです。夏休みには高校生の希望者を対象にニュージーランドのマッセイ大学での語学研修（3週間）を実施しています。このほか、オーストラリア、ニュージーランドへのチーム留学（高1・高2の10週間）、カナダへの長期留学（高2の10か月間）も可能です。本校はアメリカを中心とする欧米の約100校の提携校に高校3年間の成績で出願できる海外大学進学協定校推薦制度（UPAS）にも加盟しています。また、大学のグローバル教育センターとの連携を強化することで、新たなグローバル教育の可能性を模索しています。

問い合わせ先

東京家政大学附属女子中学校・高等学校 <https://www.tokyo-kasei.ed.jp/>
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 TEL.03-3961-2447

